

木片燃料 森林救え

工場稼働、販路探る

間伐材を破碎 →小さな塊に

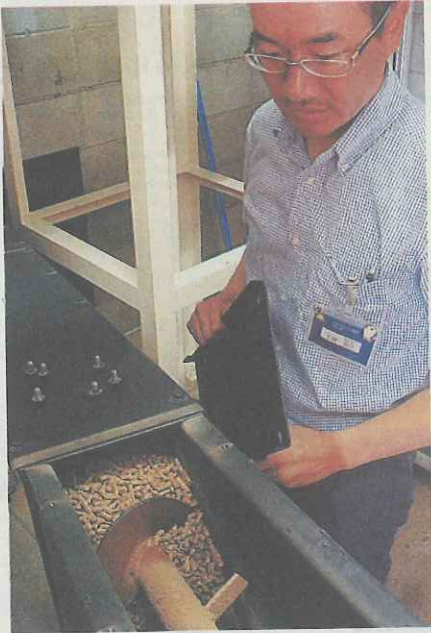
再生可能エネルギーの一つとして、間伐材から作られる木質ペレットに注目が集まっている。二酸化炭素(CO₂)の排出を抑えるうえ、森や林道の整備にもなる」と期待されている。導入の課題などを探った。



木質ペレットは、間伐材や林道をふさぐ倒木を集め、破碎・乾燥・成形の手順で製造される。木の燃料の小さな塊。北山杉で知られる石京区京北周山町に、府内で唯一の木質ペレット製造工場「森の力京都株式会社」がある。

工場の稼働は、昨年6月だ。社長の久保和則さん(38)は地元で林業家5人が出資金を出し、建設費2億5千万円は全額を国の補助金で賄った。

地球温暖化の主な原因は、石油などの化石燃料からのCO₂の放出量の増加とされる。木質ペレットも



京北病院が導入した木質ペレット。これで重油の使用量がゼロになった(石京区京北下中町)

燃やせばCO₂を出す、もともと木はCO₂を吸って育つため、大気中のCO₂の総量は変わらないと考えられる。

工場に近い京北病院では今年2月、この木質ペレットを燃やせる大型ボイラーを導入し、空調と給湯に使っている。国の補助金4千万円を利用。年間6万5千トンを燃やせる大型ボイラーを燃やせる大型ボイラーを燃やせる大型ボイラーを燃やせる大型ボイラーを燃やせる大型ボイラー

京都市は昨年、アンテナショップ「京都ペレット町家ヒノコ」(中央区)を設置。2009年度から木質ペレットを燃やして熱を出す家庭用ストーブの購入助成金制度(上限20万円)を始めた。ストーブの値段は国産だと20万〜30万円が主流で、設置費には5万〜15万円かかる。それでも、利用者は初年度が20件、昨年度は29件。今年度はさらに増えそうだという。

ただ、家庭用ストーブがひと冬に使う木質ペレットは600〜700キロなのに、対し、京北病院では年間60〜70トンを消費する。大量の木質ペレットを消費する業務用ボイラーに対する市の助成金制度(上限1500万円)の申請者はまだないという。

「ヒノコ」の運営を市から任されている「株式会社ヒバナ」(上京区)の社長松田直子さん(35)は「今後は企業を対象に業務用ボイラーの売り込みを力を入れたい」と話している。(下地毅)

●府、残業は午後8時まで

府は29日、7月1日から始める節電策を発表した。電力の使用量がピークになる午後1〜2時を昼休み時間とし、部屋の照明をすべて消したりパソコンの電源を切ったりする。また、午後5時15分の一斉消灯と、残業がある場合も午後8時には終わることを目指す。

このほか、宮津与謝道路の地蔵と大師山▽国道162号の深見▽国道426号の登尾▽国道312号の比治山▽南丹市の神楽坂——の各トンネルの昼間の照明を一部減灯する。いずれも9月22日まで。

●府議会、会議時間ずらす

府議会は29日、本会議と委員会を始める時間を1時間遅らせ、それぞれ午後2時15分から同2時半からにすると決めた。電力使用量がピークになる時間帯の会議を避けるため。6月議会では、7月1日の一般質問と8日の閉会、4〜6日の委員会が対象。(下地毅)

●京商、企業向けセミナー

企業関係者向けの節電セミナーが29日、京都市内であった。京都商工会議所など京都経済4団体が企画し、企業や団体の担当者約100人が参加した。

NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会(下京区)の省エネ研究会プロジェクトリーダーの山和孝さん(68)が「今すぐ取り組む節電・省エネのポイント」と題して講義。メーカー時代に培った節電管理の経験を踏まえ、「空調の設定温度は1度上げると5〜10%節電できる」「ひさしを設置するなどして室外機の温度を35度から30度に下げると42%の節電効果が得られる」などと説明した。また、計測機器を取り付けて電力使用量の「見える化」を勧めた。(堀田浩一)

節電の夏

官も民も

あの手の手

30年分の蓄え 8メートルの高み 府立植物園



8メートルの高さに咲いたアオノリュウゼツランの花(左京区) 状態に咲き、甘い香りを漂わせている。植物園によると、栽培を始めた時期は不明だが、今春、急に茎が伸び始めて一気に開花した。約30年をかけて養分を体内に溜めてきたと見られる。7月下旬までが見頃で、約5千の花を咲かせた後は、枯れてしまうという。

八幡市の主婦(68)はカメラを手に「ただびっくり。それにしても大きいわね」と驚いていた。(松川希実)

京都36.4度の猛暑 初の猛暑

熱中症

太平洋高気圧に29日、府内各地で暑さになった。気象台によると、最高気温36.7度、2日続けての猛暑日となった。京都市では36.4度の猛暑日となし、暑さが続くという。

熱中症とみられる病院内に運ばれる。京田辺市消防署で3人を搬送した。宇治市で17人、送られた。府内に水分を補給しと呼びかけ

同僚の違反 2警官に罰

東山署の交差点(時)が昨年9月度違反を見逃し、京都府検が八幡部補(47)と亀岡署長(42)を犯人として起訴した。14日付で警部補、巡査長に罰金、巡査長に罰金、巡査長に罰金、巡査長に罰金

伏見の殺人未遂 男性を不起訴に

心神喪失と判断

弟を刺し殺そうとしたとして今月8日に殺人未遂容疑で府警に逮捕され、弟の死亡により殺人容疑で送検された伏見区深草瓦町の不動産業者手伝いの男性(33)について、京都地検は29日、不起訴処分にした。精神鑑定の結果、「心神喪失の状態」で刑事責任を問えないと判断した。地検は、心神喪失者医療観察法に基づき鑑定入院の決定をするよう京都地裁に申し立て、同日

強盗致傷 大阪の3人

ホテル

下京区のホテルに宿泊する男性を刺され現金を奪取され、京都府警が8日に速区の無職、者(63)を強盗致傷した。府警は、共謀したとして(40)も強盗致傷